

令和6年 消防統計



大垣消防組合
Ogaki Fire Department

令和6年消防統計 目次

1 今年の災害	1～2
令和6年消防統計概要	
2 火災統計	3～4
出火原因別火災件数	3
月別火災件数・焼損床面積	4
建物火災用途別件数	4
出火原因の推移	4
3 救急統計	5～6
救急事故種別	5
傷病程度別搬送人員	6
年齢別搬送人員	6
10年間の救急出動件数	6
4 救助統計	7
5 その他の緊急出動	7

1 今年の災害

令和 6 年消防統計概要

令和 6 年における大垣消防組合管内 1 市 4 町《大垣市(上石津地域を除く。)・神戸町・輪之内町・安八町・池田町 人口約 22 万人》の火災・救急・救助などの状況をまとめました。

◆ 火災統計から・・・

火災件数は 1 件の減少、建物火災は全火災の 50%

火災件数は 70 件で、前年と比べ 1 件減少しました。

組合構成市町別では、大垣市が 44 件(増減なし)、神戸町が 11 件(1 件減少)、輪之内町が 6 件(2 件減少)、安八町が 3 件(1 件減少)、池田町が 6 件(3 件増加)となっています。

火災種別では、建物火災が 35 件(2 件増加)、林野火災が 0 件(2 件減少)、車両火災が 12 件(7 件増加)、船舶火災が 0 件(1 件減少)その他の火災が 23 件(7 件減少)でした。

建物火災のうち住宅(共同・併用住宅等含む。)からの出火件数は 22 件(6 件増加)で、全建物火災件数の約 63%となっています。続いて工場からの出火が多く 4 件(9 件減少)発生しています。

なお、焼損棟数は 43 棟(2 棟増加)で、そのうち全焼棟数は 9 棟(3 棟増加)となっており、前年よりいずれも増加しました。

出火原因の 1 位は「放火(疑い含む。）」、2 位は「電灯・電話等の配線」、3 位は「たばこ」と「火入れ(枯草焼き)」

出火原因別では「放火(疑い含む。）」が 9 件、「電灯・電話等の配線」が 8 件、「たばこ」と「火入れ(枯草焼き)」がそれぞれ 7 件となっています。

「放火(疑い含む。）」による出火においては、人通りが少ない場所や夜中の時間帯で発生している事案が多いです。家の周りに燃えやすいものを置かないようにしてください。

「電灯・電話等の配線」による出火においては、電気配線が使用状況や経年等により劣化しますので、タコ足配線などは避け定格消費電力内で電気を使用するようにしましょう。また、重量物等に電気配線が踏まれないよう気を付けてください。

「たばこ」による出火においては、たばこのポイ捨てにより、火種が枯草等に燃え移り、火災が発生した事案が多いです。たばこの後始末は、灰皿等の決められた場所に必ず捨ててください。また、全国においては出火原因(令和 5 年確定値)の 1 位が「たばこ」です。喫煙習慣のある人は気を付けてください。

「火入れ(枯草焼き)」は、田畑や堤防で枯草の焼却中に、風にあおられて延焼拡大し、火災が発生しています。原則、野焼きは禁止です。

建物火災における出火原因の 1 位は「電灯・電話等の配線」、次いで「こんろ」

近年、電気が起因する火災が多く発生しています。コンセント周りの清掃や点検を定期的に行ってください。また、今年は落雷による火災が 3 件発生しています。雷雨時は、使用していないコンセントを抜くなどの対策を行ってください。

火災による死者は 2 人、負傷者は 15 人

火災による死者は 2 人(増減なし)で、負傷者は 15 人(14 人増加)発生しました。負傷者については、前年より大幅に増加しています。増加した理由として、初期消火を行ったことで逃げ遅れてしまい、

逃げる最中に煙を吸う、または、火炎にあおられてしまった事案が多いです。初期消火はとても大切なことですが、まずは自分自身の命を第一に考えて行動してください。また、住宅での火災は、住宅用火災警報器を設置することで早期に火災を発見することができるため、火災から命や財産を守るのに効果的です。住宅用火災警報器が未設置の住宅は、必ず設置してください。また、すでに設置されている方も定期的に点検を行い、設置後 10 年程度経過したものは新しいものに取り換えましょう。

◆ 救急統計から・・・

救急出動件数は 11,435 件、1 日あたり約 31 件出動

救急出動件数は 11,435 件で、前年と比べ 103 件増加し、令和 5 年に続き過去最多数値を更新しました。過去 10 年間の平均（10,219 件）より約 1,216 件多かったことになります。1 日平均出動件数は約 31 件です。

救急事故種別をみると、「急病」が 7,819 件（約 68.4%）で全出動件数の半数以上を占め、次いで「一般負傷」が 1,667 件（約 14.6%）、「交通事故」が 866 件（約 7.5%）となっています。

搬送人員は 10,781 人で、そのうち入院加療を必要としない「軽症」傷病者は 4,721 人（約 43.8%）となり、前年と比べ 480 人減少していますが、救急隊の緊急度判断により、救急搬送の必要がなかったと思われる事案は 1,602 件ありました。今後も救急車の適正利用について考え、行動することを呼びかける広報を継続していきます。

◆ 救助統計から・・・

救助出動件数は前年から 21 件増加の 80 件、交通事故が全体の約 49%

救助出動件数は 80 件で、前年から 21 件増加となりました。

内訳をみると、「交通事故」による出動が 39 件で全体の約 49% を占め、次いで「その他の事故」、「建物等による事故」の順になっています。「交通事故」については、特に交差点での発生が多く、約 43% を占めています。

車両の安全に関する性能は上がっていますが、車の運転は運転手の認知、判断、操作に委ねられています。「だろう」運転ではなく、「かもしれない」運転を心がけ、安全運転をお願いします。

◆ その他の緊急出動から・・・

火災・救急・救助出動以外の出動件数は、1,534 件で前年と比べ 32 件減少しました。そのうち「PA 連携出動」が 1,324 件で全体の約 86% を占め、前年と比べ 32 件減少しています。PA 連携出動以外においては、多い順に、「通報確認」、「焼却行為」、「危険性物質の流出、漏えい等」となりました。また、8 月に発生した台風第 10 号の影響による河川の氾濫への対応で、自然災害の出動が 3 件発生しました。早めの避難行動を心掛けてください。

2 火 災 統 計

区 分		令和 6年 (A)	令和 5年 (B)	増減数 (A)－(B)	令和6年市町別				
					大垣市	神戸町	輪之内町	安八町	池田町
火災件数（件）		70	71	△ 1	44	11	6	3	6
火災種別	建 物 火 災	35	33	2	22	6	2	2	3
	林 野 火 災	－	2	△ 2	－	－	－	－	－
	車 両 火 災	12	5	7	7	3	1	－	1
	船 舶 火 災	－	1	△ 1	－	－	－	－	－
	航 空 機 火 災	－	－	－	－	－	－	－	－
	そ の 他 の 火 災	23	30	△ 7	15	2	3	1	2
焼 損 面 積	床面積（㎡）	1,691	1,478	213	1,112	476	47	1	55
	表面積（㎡）	141	47	94	134	7	－	－	－
	林野（a）	－	4	△ 4	－	－	－	－	－
焼 損 棟 数 （ 棟 ）		43	41	2	26	9	2	2	4
	全 焼	9	6	3	5	2	－	－	2
	半 焼	6	4	2	4	－	1	－	1
	部 分 焼	13	11	2	7	4	1	－	1
	ぼ や	15	20	△ 5	10	3	－	2	－
り 災 世 帯 （ 世 帯 ）		24	18	6	16	4	2	1	1
り 災 人 員 （ 人 ）		54	50	4	36	7	4	4	3
損 害 額 （ 千 円 ）		181,978	239,307	△ 57,329	112,438	60,035	5,199	2,887	1,419
死 者 （ 人 ）		2	2	－	1	－	1	－	－
負 傷 者 （ 人 ）		15	1	14	7	5	2	1	－
	う ち 30 日 死 者	－	－	－	－	－	－	－	－

30日死者とは、火災により受傷後48時間を経過し、30日以内に死亡した者をいう。

（△は負数を表す）

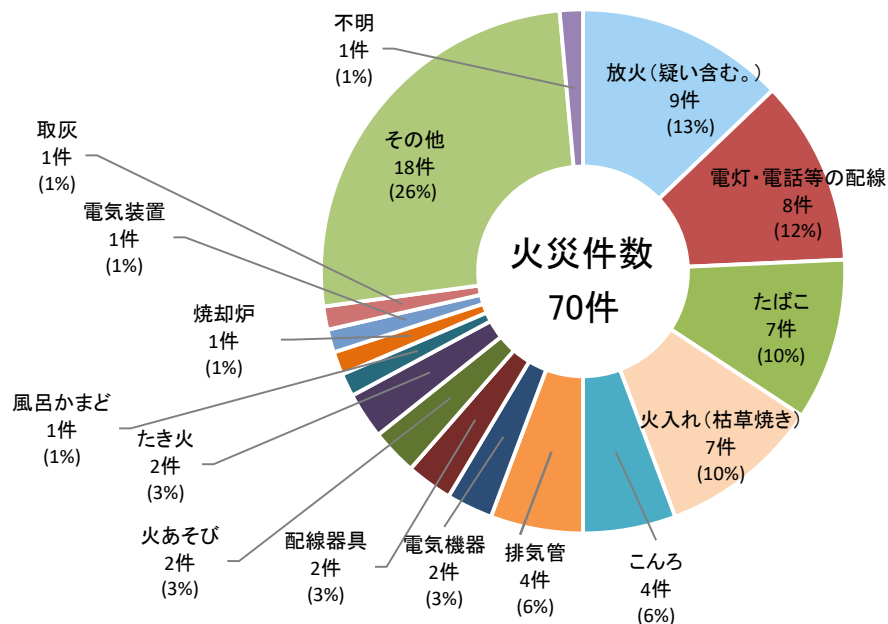
1 日 平 均 火 災 件 数 … 約 0.19 件（約5日に1件）

1 日 平 均 火 災 損 害 額 … 約 50 万円

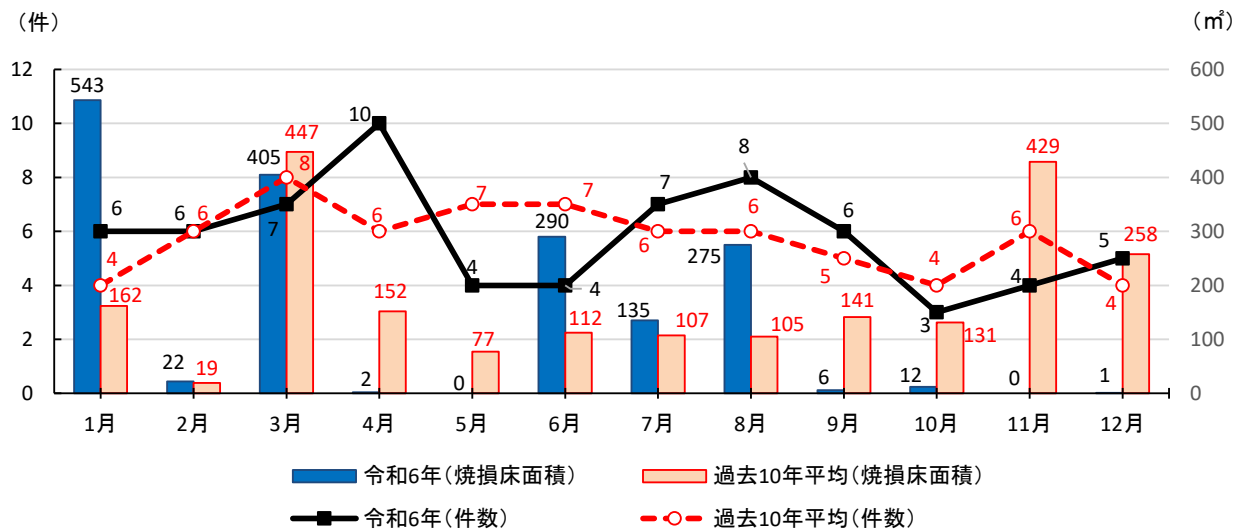
火災1件あたりの平均損害額 … 約 260 万円

建物火災1件あたりの焼損床面積 … 約 48.3 ㎡

◆ 出火原因別火災件数



◆ 月別火災件数と焼損床面積



◆ 建物火災用途別件数

用 途	住宅部分を含む用途			住宅部分を含まない用途			合 計
	専 用 住 宅	共 同 住 宅	併 用 住 宅 等	特 定 用 途	工 場 等	そ の 他	
件 数 (件)	19	3	0	4	4	5	35

特定用途とは、飲食店などの不特定多数の人が出入りする建物をいう。

※火災件数70件のうち、建物火災は35件

◆ 出火原因の推移

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1 位	放火 (疑い含む。) 16件	放火 (疑い含む。) 10件	放火 (疑い含む。) 10件	放火 (疑い含む。) 9件	火入れ (枯草焼き) 9件	火入れ (枯草焼き) 9件	放火 (疑い含む。) 8件	たばこ 10件	たばこ 11件	たばこ 13件	放火 (疑い含む。) 9件
2 位	たばこ 火入れ (枯草焼き) 各7件	こんろ 各7件	電灯・電話等 の配線 火入れ (枯草焼き) 各6件	火入れ (枯草焼き) 各8件	放火 (疑い含む。) 7件	たばこ こんろ 各5件	火入れ (枯草焼き) 4件	放火 (疑い含む。) 5件	電気機器 放火 (疑い含む。) 各7件	火入れ (枯草焼き) 9件	電灯・電話等 の配線 8件
3 位	電灯・電話等 の配線 各7件	火入れ (枯草焼き) 配線器具 各5件	たばこ 各6件	たばこ 7件	たばこ 6件	たばこ 排気管 溶接機・切断 機 各3件	たばこ 火入れ (枯草焼き) 5件	火入れ (枯草焼き) 5件	電気機器 7件	たばこ 火入れ (枯草焼き) 各7件	たばこ 火入れ (枯草焼き) 各7件
管内 火災件数	82件	83件	68件	78件	72件	56件	49件	66件	63件	71件	70件

3 救 急 統 計

区分 件数 種別 人員		令和6年 (A)	令和5年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	令和6年市町別					高 速 道 路	管 外
					大 垣 市	神 戸 町	輪 之 内 町	安 八 町	池 田 町		
火 災	出動件数	47	33	14	25	14	2	2	4	-	-
	搬送人員	15	3	12	6	6	2	1	-	-	-
自然災害	出動件数	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-
	搬送人員	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-
水難事故	出動件数	3	8	△ 5	-	-	1	1	-	-	1
	搬送人員	-	2	△ 2	-	-	-	-	-	-	-
交通事故	出動件数	866	842	24	574	87	41	75	78	3	8
	搬送人員	914	898	16	592	99	44	80	87	3	9
労働災害	出動件数	133	118	15	87	12	11	11	11	1	-
	搬送人員	133	117	16	87	12	11	11	11	1	-
運動競技	出動件数	142	131	11	111	16	5	7	3	-	-
	搬送人員	144	133	11	112	17	5	7	3	-	-
一般負傷	出動件数	1,667	1,574	93	1,236	118	51	102	159	-	1
	搬送人員	1,596	1,518	78	1,177	113	49	97	159	-	1
加 害	出動件数	25	18	7	19	2	-	2	2	-	-
	搬送人員	21	16	5	17	2	-	1	1	-	-
自損行為	出動件数	106	78	28	89	7	2	1	6	-	1
	搬送人員	85	56	29	72	6	2	-	5	-	-
急 病	出動件数	7,819	7,887	△ 68	5,758	579	298	487	685	7	5
	搬送人員	7,352	7,445	△ 93	5,387	556	288	456	653	7	5
そ の 他	出動件数	626	643	△ 17	483	32	15	30	65	-	1
	搬送人員	520	521	△ 1	393	26	14	26	60	-	1
合 計	出動件数	11,435	11,332	103	8,382	867	426	718	1,014	11	17
	搬送人員	10,781	10,709	72	7,843	837	415	679	980	11	16
不 搬 送		784	748	36	614	49	14	53	50	1	3

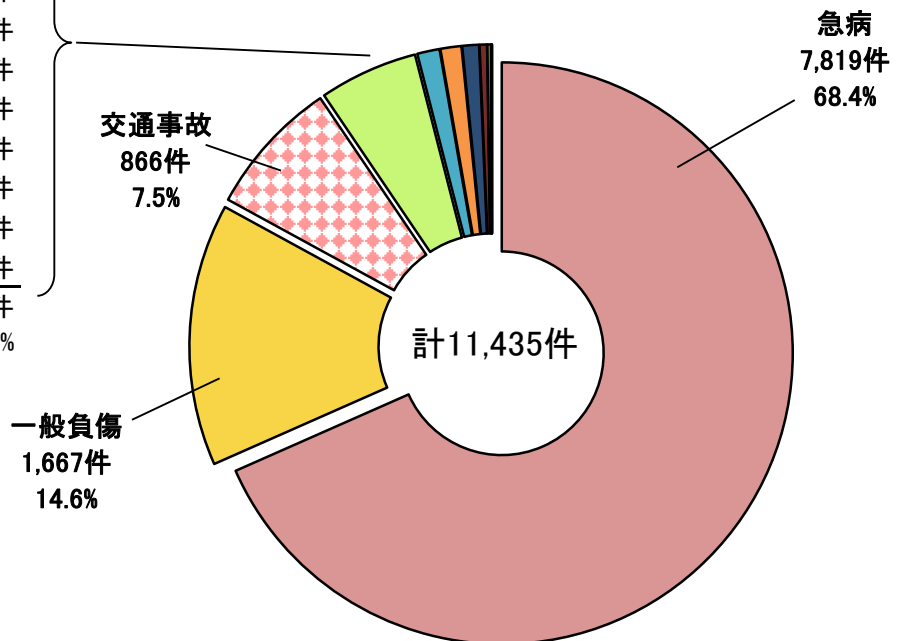
(△は負数を表す)

1 日 平 均 出 動 件 数 約 31 件

1 日 最 多 出 動 件 数 56 件 (7月8日)

◆ 救急事故種別

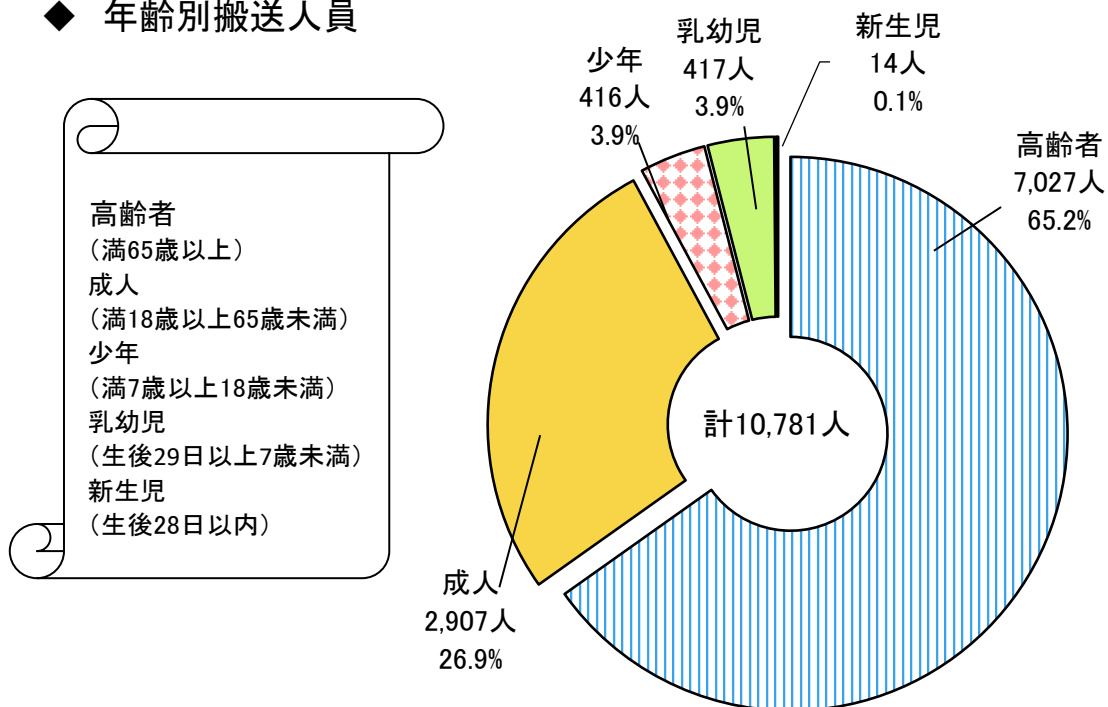
その他	626件
運動競技	142件
労働災害	133件
自損行為	106件
火災	47件
加害	25件
水難事故	3件
自然災害	1件
計	1083件
	9.5%



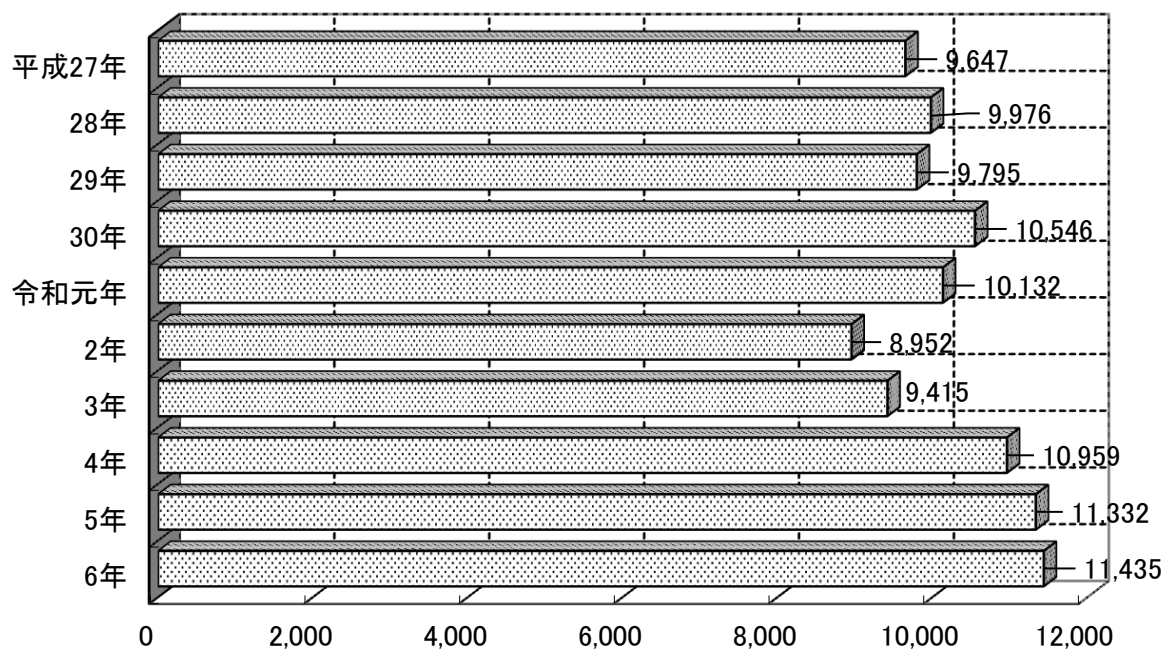
◆ 傷病程度別搬送人員

軽症	中等症	重症	死亡	その他	合計
4,721人	4,913人	1,141人	6人	0人	10,781人
43.79%	45.57%	10.58%	0.06%	0.00%	100%

◆ 年齢別搬送人員



◆ 10年間の救急出動件数



◇ 10年間の平均救急出動件数 10,219件

4 救助統計

区 分 種別 件数 人員			令和 6年 (A)	令和 5年 (B)	増減数 (A)－(B) (C)	令和6年市町別					高 速 道 路	管 外
						大 垣 市	神 戸 町	輪 之内 町	安 八 町	池 田 町		
火 災	建 物	出動件数	2	1	1	1	－	1	－	－	－	－
		救助人員	2	1	1	1	－	1	－	－	－	－
災	建物以外	出動件数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		救助人員	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
交通事故		出動件数	39	28	11	20	7	2	4	5	－	1
		救助人員	26	20	6	15	4	1	3	2	－	1
水難事故		出動件数	3	7	△4	1	－	1	1	－	－	－
		救助人員	1	5	△4	1	－	－	－	－	－	－
自然災害事故		出動件数	3	－	3	2	－	－	－	1	－	－
		救助人員	3	－	3	1	－	－	－	2	－	－
機械による事故		出動件数	2	1	1	2	－	－	－	－	－	－
		救助人員	1	1	－	1	－	－	－	－	－	－
建物等による事故		出動件数	10	13	△3	8	－	－	－	2	－	－
		救助人員	10	12	△2	8	－	－	－	2	－	－
ガス及び酸欠事故		出動件数	1	－	1	1	－	－	－	－	－	－
		救助人員	1	－	1	1	－	－	－	－	－	－
破裂事故		出動件数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		救助人員	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他の事故		出動件数	20	9	11	15	1	1	2	1	－	－
		救助人員	17	4	13	13	1	1	1	1	－	－
合 計		出動件数	80	59	21	50	8	5	7	9	－	1
		救助人員	61	43	18	41	5	3	4	7	－	1

1 日 平 均 出 動 件 数……………約0.22件 (約6日に1件)

(△は負数を表す)

5 その他の緊急出動

区 分		令 和 6 年 (A)	令 和 5 年 (B)	増減数 (A) - (B)	令 和 6 年 市 町 別					高 速 道 路	管 外
					大 垣 市	神 戸 町	輪 之内 町	安 八 町	池 田 町		
警 戒 ・ 調 査 活 動	危険性物質の流出、漏えい等	26	43	△ 17	14	3	3	2	2	2	-
	焼 却 行 為	56	67	△ 11	36	6	5	5	4	-	-
	通 報 確 認	85	69	16	73	8	1	1	2	-	-
	焼 損 事 故	5	7	△ 2	4	1	-	-	-	-	-
	怪 煙	13	8	5	6	3	1	2	1	-	-
	虚 報	6	9	△ 3	4	1	-	1	-	-	-
	自 然 災 害	3	-	3	3	-	-	-	-	-	-
	そ の 他	4	4	-	4	-	-	-	-	-	-
支 援 活 動	P A 連 携	1,324	1,356	△ 32	944	96	54	78	139	10	3
	集 団 災 害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	へ り 支 援	5	1	4	2	1	-	-	2	-	-
応 援 活 動		7	2	5	-	-	-	-	-	-	7
そ の 他 の 活 動		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計		1,534	1,566	△ 32	1,090	119	64	89	150	12	10

1日平均出動件数……………約4.2件

(△は負数を表す)

警 戒 ・ 調 査 活 動 危険性物質の流出、漏えい等…危険性物質(ガソリン等)の流出、漏えい等により出動し、警戒又は調査したもの
 焼却行為…枯草焼き等の焼却行為に対する通報により出動し調査の結果、火災に該当しないもの
 通報確認…自動火災報知設備等の発報により出動し、調査の結果誤りであると判明したもの
 焼損事故…鍋の空焚き等で火災として取扱うに至らないもの
 怪 煙…煙の発生により出動し、警戒又は調査したもの
 虚 報…救急及び救助以外で出動した結果、その事実の発生がなかったもの
 自然災害…風水害等により出動し、警戒又は調査したもの
 そ の 他…上記以外に警戒又は調査したもの

支 援 活 動 PA連携(消防車と救急車が連携して救急活動を行うこと)、集団災害時の支援活動、防災ヘリ等の支援活動したもの
 応 援 活 動 管轄以外の近隣市町の災害に出動したもの
 その他の活動 上記以外の活動を行ったもの

住宅防火

いのちを守る10のポイント

様々な火災の中でも、特に住宅で発生する火災で多数の死者が出ており、その出火原因はたばこ、ストーブ、こんろ、電気機器など、生活する上で身近にある機器が多くを占めます。

日頃から取り組んでいただく住宅防火対策として、4つの習慣、6つの対策からなる「住宅防火いのちを守る10のポイント」を取りまとめました。

是非、ご家族の皆様で住宅火災からいのちを守るための対策をご確認ください。

4つの習慣



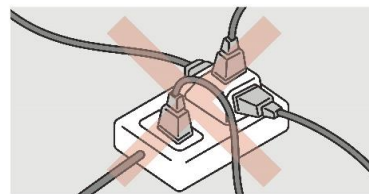
①寝たばこは絶対にしない、させない



②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない

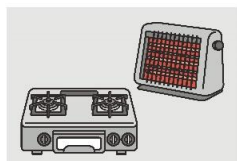


③こんろを使うときは火のそばを離れない



④コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

6つの対策



①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する



④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく



⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

出典：総務省消防庁ホームページ
(<http://www.fdma.go.jp/>)

2024年度 全国統一防火標語

守りたい 未来があるから 火の用心

消防情報テレホンサービス 050—5865—1561